

だいでん

第45号
2・16
平成19年2月16日



おおきなせなかに

夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

特集 / 産土^{うぶすな}の血が騒ぐ

刈和野の大綱引き

綱引きをする刈和野保育園の子どもたち。
(1月17日)



— CONTENTS —

■市民による市政評価結果報告	2-5
■市からのお知らせ	24-25
■地場産食材厨房 / 今シゲ子さん	29

市民による市政評価

11

分野の評価〈事業分野名、点数(ランク)〉

1 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(生活環境の分野)	4.030(A)
2 生活の基盤が整ったまちづくり(上下水道の分野)	3.768(A)
3 安心して健やかに暮らせるまちづくり(高齢者の分野)	3.767(A)
4 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(教育の分野)	3.718(A)
5 安心して健やかに暮らせるまちづくり(乳幼児の分野)	3.708(A)
6 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり (地域情報化・男女共同参画の分野)	3.617(A)
7 生活の基盤が整ったまちづくり(交通・道路の分野)	3.610(A)
8 計画の推進にあたって(市民自らの主体的な活動の支援の分野)	3.575(A)
9 生活の基盤が整ったまちづくり(駅周辺・まちづくり交付金の分野)	3.458(B)
10 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(農林振興の分野)	3.374(B)
11 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(商工観光の分野)	3.297(B)

26

事業の評価〈事業名、点数(ランク)〉

1 ごみ収集事業	4.249(A)
2 学校生活支援事業	4.179(A)
3 地域児童健全育成推進事業	4.088(A)
4 移動通信用鉄塔施設整備事業	4.027(A)
5 小中学校芸術鑑賞事業	4.009(A)
6 すこやか子育て手当金支給事業	4.007(A)
7 消防施設・設備整備事業	4.000(A)
8 地域交通対策検討事業	3.935(A)
9 乳幼児、就学児(小児)医療費市独自助成事業	3.933(A)
10 体験的学習時間支援事業	3.925(A)
11 道路新設改良事業	3.904(A)
12 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等	3.882(A)
13 水道事業、簡易水道事業	3.816(A)
14 敬老の日事業	3.750(A)
15 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業	3.685(A)
16 自治会育成支援事業	3.625(A)
17 企業誘致振興対策費	3.551(A)
18 観光ガイドボード(案内看板)事業	3.517(A)
19 地域振興(地域枠)事業	3.491(B)
20 まちづくり交付金事業	3.484(B)
21 温泉ふれあい入浴事業	3.463(B)
22 男女共同参画推進事業	3.398(B)
23 畑作園芸振興事業	3.292(B)
24 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業	3.290(B)
25 集落営農法人化推進事業	3.256(B)
26 産地づくり推進事業	3.252(B)

※ 点数は5点満点で、3.5点以上がA(事業継続)。3.5点未満2.5点以上がB(基本的に継続だが、改善の余地あり)、2.5点未満がC(改善・見直しが必要)となります。

大仙市として初めて実施 「その方法とは」

昨年、市が実施している事業を11分野に分け、その各分野への満足度と、26の主要事業(新規含む)に対する評価をみなさんにかがう「市民による市政評価」を実施しました。8月22日から9月30日までかけて実施されたこの調査は、大仙市としては初めての「市民による市政評価」となります。

調査対象は、無作為に抽出した市民の方々1000人。20歳から74歳までの幅広い年代、地域の方々に、郵送でアンケート用紙(原則、記名回答)を送付し、427人の方々から評価していただきました。

評価は各分野の取り組み・主要事業の内容に対し「5(満足)」、「4(やや有効・満足)」、「3(どちらでもない)」、「2(あまり有効でない・満足できない)」、「1(有効でない・満足でない)」の5段階で点数を付けてもらうものです。

この数値の平均が、3・5点以上であれば「Aランク

(事業を継続)」、3・49点以下2・50点以上であれば「Bランク(基本的に継続だが、改善の余地あり)」、2・49点以下であれば「Cランク(改善が必要。または事業の再構築を含め見直しが必要)」の3段階で判定されます。つまり数値が高ければ高いほど、みなさんに満足していただいている有効な事業ということになります。

事業別の有効性は 「生活環境は満足」 「商工観光が不足」

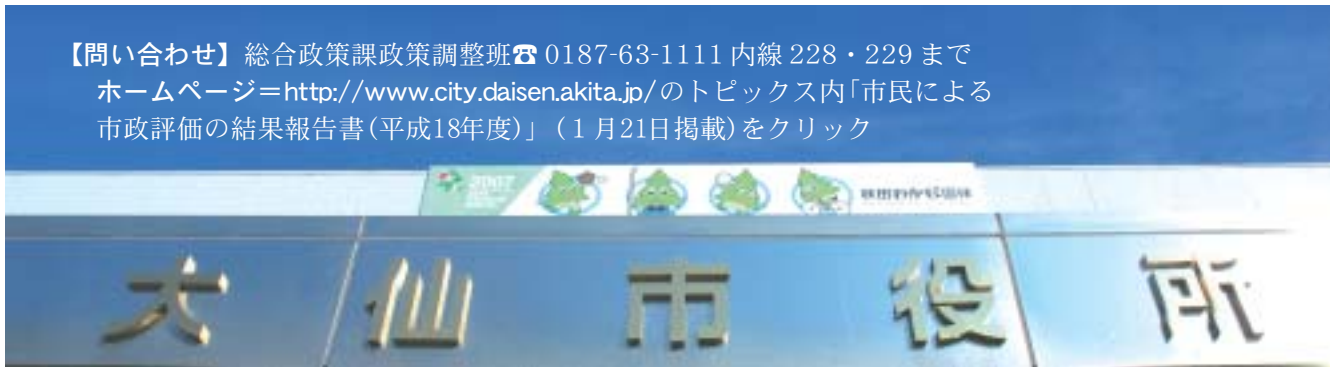
アンケートの結果、みなさんの満足度の最も高い分野が「生活環境」、最も低い分野が「商工観光」となりました。

生活環境分野においては肯定的な意見が多く、市のごみ収集体制の統一や災害対策が高い評価をされていることが分かります。

反面、商工観光分野では「若者の定住促進を図るべき」などの意見が多く寄せられ、みなさんの危機感が強い状況にありことが分かりました。

26の主要事業に関しては「Aランク」が18事業、「Bラ

【問い合わせ】総合政策課政策調整班 ☎0187-63-1111 内線228・229まで
ホームページ=<http://www.city.daisen.akita.jp/>のトピックス内「市民による市政評価の結果報告書(平成18年度)」(1月21日掲載)をクリック



ンク」が8事業となり、全てBランク以上との結果となりました。

有効性の高い事業は「ごみ収集事業」を筆頭に、子育て関係事業となり、低い事業は「産地づくり推進事業」などという結果になっています。

全体として目的や制度の内容が複雑な事業ほど評価が低く、成果が実感しやすい身近な事業ほど評価が高いということが分かります。これからは通常のピーアールだけでなく、みなさんにさまざまな事業についてより知っていたくため広く情報を開示し、分かりやすい判断材料を提供することが課題です。

これからの取り組み 「調査をどう生かすか」

今回の調査の対象は、無作為に抽出した市民の方々に、それぞれの施策や事業の受益者を限定した調査ではありませんでした。そのため「内容が良く分からない」という意見も多く寄せられたほか、評価のための十分なデータがないために、雰囲気的な感想を「評価」とすることに懸念を

表す意見も寄せられました。これらの意見が示す通り、市の説明技術の向上、みなさんとの情報の共有のあり方がこれからの課題です。しかし「分からない」という回答を含め、市の施策、事業に対するみなさんの平均的な受け止め方を反映しているものと考えています。

今後、回答いただいた427人のうち、同意いただいた391人に対して、まったく同じ内容でアンケートを行い満足度や有効性の変化についての調査(第2次追跡調査)を行う予定です。

また19年度も市政評価を引き続き行う予定です。調査方法は今回と同様に、無作為に選ばれた方に郵送でアンケートを送付する形式ですが、今回は希望者の申し込みも受け付けます。詳しくは、後ほど広報でお知らせします。

評価は改善のための道具であり、結果を受けた改善策の検討が必要です。今回の調査結果を今後の事業に役立たせることで、よりみなさんに納得していただき、満足感を実感できるように事業実施に努めていきます。

乳幼児の分野



肯定評価 61%
否定評価 11%
「どちらでもない」 22%
安心して健やかに暮らせるまちづくり

基本的に肯定評価が多く、みなさんの評価から乳幼児に対する市独自の施策展開に対して、おおむね肯定的な評価を得ていると判断できます。

しかし、市独自の所得制限に対して「不平等」とする意見や「少子化対策の観点から見ても、現行の施策は効果が無い」などの意見もいただきました。

高齢者の分野



肯定評価 67%
否定評価 10%
「どちらでもない」 22%
安心して健やかに暮らせるまちづくり

年代別では「60・70歳代」の肯定評価が非常に高く、「40・50歳代」、「20・30歳代」の方から「どちらでもない」との回答が多く寄せられました。また事業の対象年齢とならないために関心が薄いことが原因と考えられますが、現実の長寿社会のさまざまな問題に対応していくためには、若い世代を含め、全体で取り組むことが必要です。若い世代の関心を高めていくことが課題と言えます。

教育の分野



肯定評価 59%
否定評価 8%
「どちらでもない」 30%
未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり

年代別では「60・70歳代」の肯定評価が高いものの、実際に小・中学生の子を持つ親の年代では「どちらでもない」が多く、現状の施策に対して「判断しかねる」と考えている方が多いのが特徴的でした。

子どもの人格形成に係わる事業として「体験的学習」や「芸術鑑賞」の推進を求める意見もいただきました。

農業振興の分野



肯定評価 40%
否定評価 14%
「どちらでもない」 42%
活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり

現状を評価できない方の割合が突出して高くなっているのが特徴です。これはほとんどの施策が「生産者を受け入れ、農業者以外の方にとってはその施策が本当に効果的なものか判断が難しかった」と考えられます。農業は市の主要産業であり、農業振興のため生産者側に重点を置いた施策展開を行う一方で、みなさんから農業振興の重要性に対して理解を得られる努力と、全体から支持される農業施策の展開が必要です。

商工観光の分野



肯定評価 43%
否定評価 20%
「どちらでもない」 33%
活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり

若者の県外流出を減らすため、若者の働ける場の環境整備について多くの意見をいただきました。

みなさんが若者の県外流出が「人口減少」や「少子高齢化」の共通する原因として考え、高い関心と危機感を持っていることがうかがえます。打開策として若者の働く環境整備による定住促進に期待しているものの、現状が伴っていないことが低評価につながったと考えられます。より積極的な事業展開が課題です。

交通・道路の分野



肯定評価 59%
否定評価 14%
「どちらでもない」 22%
生活の基盤が整ったまちづくり

全ての年代で50%以上、地域別でも西仙北地域を除いた7地域で50%以上の肯定評価と、みなさんから一定以上の評価をいただきました。しかし、幹線道路の整備を評価する一方で、幹線道路沿いに大型店舗が建ち並ぶことで「駅前の空洞化が進むのではないか」と心配する意見や生活道路・通学路など身近な道路の早期改良を望む意見をいただきました。

駅周辺・まち交 の分野

肯定評価 52%
否定評価 15%
「どちらでもない」 30%
生活の基盤が整ったまちづくり

B

各地域でばらつきが目立ちました。事業の対象地域以外では「どちらでもない」の割合が非常に高くなっていることから、対象地域外での関心の低さがかがえます。また大曲駅前の区画整理事業に対しては、事業開始から15年以上が経ちまだ完了まで数年かかるため、完了後の全体像が見えないなどの否定的な意見が寄せられました。これからの事業展開と、商店街を含めた駅周辺の将来像をみなさんに説明していくことが課題と言えます。

上下水道の分野

肯定評価 64%
否定評価 10%
「どちらでもない」 22%
生活の基盤が整ったまちづくり



A

基本的に肯定評価が高い項目です。地域別では、太田地域で肯定評価が唯一50%に達しませんでした。また、地域間または同地域内の地区間で整備状況に差が出ているため、平等に整備を願うなどの意見も寄せられました。

生活環境の分野

肯定評価 75%
否定評価 4%
「どちらでもない」 16%
環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり



A

全分野の中でも一番高い評価となっており、みなさんから高い理解を得ていることがうかがえます。生活や生命に直結する分野だけに、みなさんの関心も高いものとなりました。これからもより「安全安心」に暮らせる環境整備に努めていきます。

地域情報化・男女共同参画の分野

肯定評価 54%
否定評価 9%
「どちらでもない」 32%
仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

A

「どちらでもない」という回答率が高く、全体的に、年代・地域などによって非常にばらつきのある結果となりました。男女共同参画社会の形成が求められる中、年代を問わずみなさんの関心を高め、より効果的に意識改革を図ることが必要です。

市民自らの主体的な活動の支援の分野

肯定評価 50%
否定評価 6%
「どちらでもない」 39%
計画の推進にあたって

A

「どちらでもない」という意見が多くなっており、施策内容や目的の理解が得られていないことがうかがえます。みなさんと行政との「協働のまちづくり」を推進していくにあたり、市民に対し施策内容や目的を周知し、みなさんがまちづくりに参加しやすい仕組み作りをすることが課題です。

11 分野、内容総括



産土うぶすなの血が騒ぐ

刈和野の

七綱引き



網の直径約80センチ、長さは約200メートル、そして重さは約20トン。日本最大級の大綱は厳寒の2月10日の夜、古式にのっとり、まちを二分して数千人により引き合わされる。左右に振られる提灯と「ジョウヤサノ」の掛け声がある種のリズムを奏でる。渾身の力を振り絞っての引き合いでは、その巨体が雪面から浮き上がるほどだ。波打つ大綱、怒濤のように押し寄せるエネルギー、そして、吐く息とほとばしる熱気が会場を真っ白に染める。その土地に生まれた者の魂を揺さぶる「刈和野の大綱引き」。国の重要無形民俗文化財にも指定される、その魅力に迫る。

市神様を祀る 500余年の伝習

刈和野の大綱引きの歴史については、今から500余年前の室町時代からの伝習であると言われている。

それによると平将門の一族である長山氏が刈和野に土着し、長山氏の氏神が市場を守護する神「市神」であり、その祭事として綱引きが始められたのが由来といわれる。

上町、下町、その勝者がその年の市場開設権を獲得したといわれているが、現在では上町が勝てば米の値が上

がり、下町が勝てば豊作と、その年を占う「お告げ」が下される。

雄綱と雌綱 二日町と五日町

平成10年からは開催日を2月10日に固定し行われているが、それ以前は旧暦の正月15日の夜に行われてきた。

刈和野地区の中心部、通称「大町通り」と呼ばれる通りでまちを二分して行われる。そして上町を「二日町」、下町を「五日町」と呼んでいる。

大綱の綱作りは、それぞれが行う。二日町が作る「雄綱」は、その先端が

古代中国で生まれた思想である陰陽説の陽(男性)の象徴であり「ケン」と呼ばれる。長さは男の厄年を表す42尋(約64メートル)。また、五日町の「雌綱」は、その先端が陰(女性)の象徴であり「サバグチ」と呼ばれる。長さは女の厄年を表す33尋(約50メートル)。古式ゆかしい神事が守られる大綱作りは開催日の約1カ月前から始まり、1週間前にできあがり、大綱は両町内境界の中心「ドツブ」付近に飾られる。両綱とも大蛇がとぐろを巻いたように積み上げ、綱の先端は中から出す習わしになっている。

数十分の引き合い 軋む大綱

市神様の祭事として行われるため、大綱引き当日は、現在市神様を祀っている浮島神社から市神様を奉戴し大綱に安置し、神官がおはらいをして勝負のときを待つ。

引き合いの瞬間、地響きにも似た喊声が一斉に上がり、左右に振られる提灯の灯りに合わせながら力の限り引き合われる。大綱が軋みながら波を打ち、一進一退の攻防が数十分続き、そして勝敗が決まる。



刈和野大綱引保存会
佐々木 忠雄 会長
(刈和野・71歳)

伝統行事で地域活性

国内最大級の大綱引き。昭和58年には県、翌59年には国の重要無形民俗文化財に指定された。

市場の開設権争いからその年を占う神事へと内容も変化し、昭和32年からは旧西仙北町の観光事業の一環として綱引協力委員会が組織された。そして47年には日本一といわれるこの大綱引きの伝統を保存し継承する活動を進めるため、刈和野大綱引保存会が組織された。

現在の会長である佐々木忠雄さんは24歳の若さで二日町の建元になり、平成4年まで町内を引っ張ってきた。その後、副会長に就任し13年からは会長を務める。副会長になってからはその職責から中立の立場をとり、一度も綱には触っていないという。

「建元時代は勝負にこだわりましたが今は参加者がけがすることなく、楽しく、良い祭りだったと思えるようにしたい」と話す。

綱引きは、稲作と一緒に中国から朝鮮半島を通して海を渡ってきたといわれるが、当市では綱引きが縁で韓国の唐津郡機池市との交流を始めている。

平成16年に刈和野大綱引保存会役員等が訪韓し、翌17年には刈和野の大綱引きに招待。併せて青少年の交流を行った。また、昨年は栗林市長が韓国を訪問し、共通の行事を持つ地域が国際交流を行い、相互理解や文化交流、友好親善を図った。

「韓国側では『世界綱引きサミット』を開催したいと話していますので、この伝統行事をきっかけに国際交流ひいては地域活性化につなげたい」と夢を語る。

大綱の歴史

この行事がいつから行われるようになったかを示す具体的な史料、文献、記録は残念ながら見つからない。

しかし、文化・文政期(1800年初頭)に菅江真澄によって書かれた地誌「月の出羽路」の仙北郡二ノ下「長山右門家系譜」に、次のような市神に関する記述がある。

「女綱、男綱として二尺(フタサカ)まり回(メグ)る組綱を制作、雄綱の長(タケ)二十三尋、雌綱の長さも卅三尋、それを左右より中に合せ結び堅め、またそれを綱のかうで、しもでのごとくかまへたるに添(ツヅ)綱を付て、雄綱の方は東にして二日町なり。雌綱の方は西にして五日町也。しかして東西よりこゝらの人、老わかきといはず近き村々の人も力を添(オウ)て、月の夕影を燈(トモ)とし、あるは手挑(トモシビ)灯をかゝげさせ

歴史、伝統を守り
まちの財産として
未来へとつなげる

大雪(ミユキ)の上をふみしたき、ひこつらひ、ひこしらふほどに、寒き夜、ころもしらず肌脱汗(いんげんあせ)うち流し、力のかぎり雪にまみれて曳(ひ)きにひきぬ」と描かれ、当時の引き合いの様子がうかがい知ることができる。



浮島神社へ明治10年に奉納された絵には、雄綱雌綱の前でおはらいしている様子が描かれ、当時の様子を知ることができる。

「グミ」を組み、大綱を撚る^よ

国内最大級の大綱は毎年作られる

作業は約1カ月前から始まり

新しい藁^{わら}を用い、上下両町内で作られる

使用される藁の量は7000束

「グミ組み」は熟練した人が約2週間かけ

「綱撚^{つなよ}い」は町民総出で2日間かけて行う

雄綱と雌綱、それぞれ約10トン

上下の境界の中心である「ドップ」付近に飾られ

国内最大級の大綱は勝負の時を待つ

練達がグミを組み、両町内総出で大綱を撚る

「グミ組み」 「綱撚い」

大綱のもとになるものを「グミ」と呼ぶ。グミの長さは20尋ひろ(約30・2メートル)で、幅は約10センチ。両町内とも200本以上のグミを準備する。グミをはじめ綱の長さの単位に、昔から「尋」という単位を用いている。尋とは大人が両手を横に広げたときの長さで、約1・51メートルを標準としている。

大綱作りは「綱撚い」と呼ばれ、両町民が2日間で仕上げ。そして大綱が完成すると、両町の境界の中心である「ドツブ」付近に飾られる。

大綱作りは、両町内が同じ日におのおの別の場所で作業し、この作業は昔から地区民に労務をお願いする習わしで、労務できない家では寄付をすることになっている。

作業には小中学生の力を借りるなどしながら、各町内2日間で200人、計400人を要する大がかりな作業である。



藁打ち

作業所に運び込まれた藁は、まずは「シナゴキ」される。シナゴキとは稲の葉の部分を取る作業で、「シベをコク」とも言われる。そして、次は「藁打ち」という作業である。昔は木づちを使った人力による手打ちだったが今は機械打ちになり、主に女性が作業を行っている。この作業は藁を柔らかくし、丈夫で切れにくい綱を作るための大切な作業で、藁の状態によって打ち具合の強弱を微妙に変えるなど慎重かつ念入りに行われる作業である。

グミ組み(編み)

昨年までこの作業は各町内別々の作業所で行われていたが、今年から西仙北中央公民館隣の旧秋田地方事務局大曲支局西仙北出張所で行っている。

グミは3つの藁の小束を交互に組みながら長く作っていく。熟練した男たちが、午前8時から午後5時ぐらいまで作業所に詰めて作業する。一人1日2本のグミを作るのがやっとであり、各町200余本を準備することから、作業に約2週間、両町で延べ2000人の人手が必要になる。

- ①一段高くなった作業台で黙々とグミを編む。均一の太さに組むためには経験が必要だ。
- ②作業場に運び込まれた大量の藁。
- ③丈夫な綱を作るために藁打ちは重要な作業。
- ④小綱作りは綱を撚る3人とそれぞれの助手、そして反対側で綱を引く人の計7人で作業する。
- ⑤大量の藁がグミに姿を変えていく。
- ⑥できたグミは屋外に積み上げられ保管される。

グミ組み半世紀のベテラン



永澤新伍さん
(刈和野小野・77歳)

永澤さんがグミ組みを始めたのが20代の中ごろ。50年以上のベテランは、ひときわ作業が早く、仕上がりも美しい。30本くらいの藁を一つかみすると、あっという間の早業で編んでいく。「藁を適量につかみ、固く絞るようにしていくのがコツ」と話す、そのみごとな手早さにほれほれする。

見栄えにもこだわりながら作り、平成13年に秋田で開催されたワールドゲームズに綱を出したことを誇りに感じているという。

「今年も精一杯力を出してもらえような丈夫で見栄えのする綱を作り、参加者に喜んでもらいたい」と元気に話す。



伝統の力を感じた新人



佐藤 広さん
(刈和野上ノ台・39歳)

今年からグミ組みに参加した佐藤さん。一昨年の春に東京から地元へ帰り、昨年からは実行部に所属し大綱引きに参加。20年ぶりの大綱引きだったが、熱く燃えたぎった昔の思いや感覚がすぐによみがえったという。

「都会に出て、ふるさとのよさをあらためて感じるがありました。今は綱を引くだけでなく、綱を作る、手がけることに面白みを感じています」と綱に夢中の様子。

「先輩に比べれば、スピードや見栄えなどまだまだです」と謙遜するが、後継者不足といわれる中で貴重な存在だ。造園業で鍛えた技や手先の器用さを発揮しながら、黙々と藁にむかう。



雄綱・二日町



①



②



④

- ① 雄綱の先端「ケン」は陽の象徴である。
- ② 人の力で持ち上げ、交互に撚りをかけていく。
- ③ 「ケン」の周りを新しい藁で包み、大ばさみできれいに刈り込んでいく。
- ④ 作業に参加した西仙北東中学生。

二日町の「雄綱」

二日町の大綱は雄綱で、その先端は陽(男性)の象徴に作り、その部分を「ケン」と呼んでいる。

作り方は、グミを33本束ねて縄で一定間隔に縛っていく。そしてグミをこれに次々に継ぎ足して長く太い一本の単位綱を作る。これと同じ単位綱をさらにもう2本作り、

3本を左回りに撚りあわせる。端を「こうがい棒」と呼ばれる道具で固定し、大勢の人で持ちながら交互に行き交い撚りあわせていく。撚りあわせた大綱は、撚りが戻らないように一定間隔に縄で縛っていく。

綱の先端「ケン」は、撚りあわせた綱のまわりを新しい藁で包み、その上を縄で42巻きに巻き、大ばさみで最先端

部分をきれいに刈り込んで仕上げる。雄綱は3分の2ぐらいの長さのところまではほぼ同じ太さで作り、それからしだいに細くなるように作っていく。

綱の太さから数えたグミの本数は33本の3倍、99本である。長さは、昔から男の厄年42歳を象徴して42尋(約64メートル)である。

五日町の「雌綱」

五日町の大綱は雌綱で、その先端は陰(女性)の象徴に作り、その部分は「サバグチ」と呼ばれ、大きな輪になっている。

雌綱は、最初にサバグチから作られる。グミを17本束ねて縄で一定間隔に縛り、グミを継ぎ足しながらサバグチを作れる長さの1本の単位綱を

2月2日、ドップ付近に飾られた両綱。



雌綱・五日町



①



②

- ① 雌綱の先端「サバグチ」は陰の象徴である。
- ② 転がしながら撚りをかけていく。
- ③ サバグチの根元、輪の部分に縄を巻いて固く締める。
- ④ 見学に訪れた西仙ひまわり幼稚園児。



③



④

作る。これと同じ単位綱をさらにもう2本作り、3本を転がして撚り合わせ、撚りが戻らないように縄で一定間隔で縛る。できあがった綱を丸い木型などを中心に置き、卵型の大きな輪にする。

輪の根元は両端からグミ17本の単位綱が3本ずつ6本出ているが、その中の2本ずつをまとめて新たな1本の単位綱3組を作る。このとき両端

から出ている単位綱の組み合わせ方を間違えると綱が切れる原因にもなるので、慎重を要する作業である。サバグチの根元部分が一番力のかかるところであるため、念入りに仕上げる。

サバグチの根元および輪の部分の一部は縄で固く巻いて締める。グミを継ぎ足しながら綱を延ばしていくが、五日町ではサバグチを左回りに

「転がす」という方法で行い、二日町とは作り方が違う。撚りあわせた大綱は撚りが戻らないよう一定間隔に縄で縛りながら、半分くらいの長さのところからしだいに細くなるように作られる。

綱の太さから数えたグミの本数は34本の3倍、102本である。長さは、女の厄年33歳を象徴して33尋(約50メートル)である。

綱飾り

綱撚りが終わると、大綱は綱引き会場の中心、すなわち両町の境界となる「ドップ」と呼ばれる付近に飾られる。

綱飾りは大蛇がとぐるを巻いたように7巻きに積み上げる。それぞれの綱の先端であるケンとサバグチが中から上に出て御幣を立て、雄綱を右側、雌綱を左側に飾る。



地場産へのこだわり

国内最大級の大綱には7000束の稲藁が使用される。稲7〜8株ぐらいで1把、10把で1束という計算であるから、7000束の稲藁を確保するためには3ヘクタール以上の田んぼが必要になる。また、綱に使用される藁はある程度の長さが必要で良く乾燥されたものでないと使用できない。機械化が進む中であつて藁を確保することは困難を極める。そんな中で5000束もの藁を提供する高橋博さんは、刈和野大綱引保存会の副会長も務める。

「日本一の大綱だからこそ地元の藁で作りたい」という機運が高まったのは平成15年のこと。さつそく依頼を受けた高橋さん。翌年からは地元産の藁で大綱を作るようになった。

「昔は藁を集めるのは建元の重要な仕



刈和野大綱引保存会
高橋 博 副会長
(刈和野竹花・58歳)

事で、藁集めに難儀していました。近隣町村や遠くは岩手県から藁を集めるなど苦労話を聞かされていました」。手間暇のかかる藁集めだが、「刈和野に生まれた者として協力しなければという思いが強く、自分ができるところであれば協力を惜しみません」と笑う。藁集めは試行錯誤の連続だった。一番重要な作業が乾燥で、これをしっかりと行わないと丈夫で切れにくい、そして青々とした見栄えのする綱ができないうという。

「私たちの言葉で『藁が死ぬ』と言いますが、藁をしっかりと枯らしてから乾燥しなければ良いものができません。天候に大きく左右され、ころ合いを掴むのが非常に難しく、実験的に育苗ハウスを利用して乾燥させたこともあり」と回想する。

また、「自分たちの稲刈りで忙しい

中、たくさんの方々の手伝ってくれます。地域の人たちが協力してくれることが本当にありがたい」と感謝の気持ちを忘れない。

藁集めを始めてから、どこの田んぼに行っても藁の状態が気になるという。米の収穫よりも、大綱用の藁を収めた方が気が休まるという高橋さん。

「引くばかりの綱でなく、見栄えのする綱を作りたい。それが刈和野に生まれ育った者の誇りです」と話す。

新たな試み

五日町の実行部では、今年から入手困難となりつつある藁を初めて自分たちの手で集めた。

実行部とは大綱引きを主宰する建元を補佐する若い人たちの集まりで、今回の試みは、大綱引きへの若い人の関心を高めるとともに自分たちの手で伝

統行事を守っていかなければという使命感からだ。た。

「はさがけ」による乾燥はメンバーにとって初めての作業で、年配の方々には指導を受けながら慣れない作業に挑戦した。

「自分たちの手で大綱引きを支えよう」。伝統行事を守る人々の強い意気込みが感じられた。



今年藁作りに挑戦した五日町のみなさん。

日本一の大綱を地元の藁で
大量の藁確保に苦労
藁集めから伝統を守る

選ばれし者たち 「建元」たてもと

大綱引きを主宰する「建元」
二日町には6人、五日町には7人の建元がいる
藁わらの確保やグミ組み、綱合わせ、綱ほぐし、
寄付金集め、協力体制づくりなど仕事内容は多岐にわたる
経験豊かで人望も厚く、強力なリーダーシップで
町内をまとめ勝利へと導く

二日町



二日町建元 佐々木 栄 さん

伝統を後生に

建元は大綱引きに携わる者にとって憧れの的である。若衆の中には建元になりたい者がたくさんいるが、誰でもすぐにその任に付くことはできない。

一見華やかに見える建元の仕事であるが、藁の確保や綱作り、古来からのしきたり、町民の協力体制、リーダーシップなど、綱に対するこまごまとした知識をはじめさまざまな能力を身に付けていなければならない。

父親も建元だったという二日町の建



二日町建元 6人衆。

元・佐々木栄さんは、「綱を愛し、まじめで興味を持って大綱引きに取り組むことが絶対であり最低条件」と建元に必要な資質を語る。また、「建元は500余年の歴史と伝統を引き継ぐ者であり、人の先頭に立ち、若い者の指導者にならなければならない」とその責任の重さを話す。

また、五日町の建元の中でも親方と呼ばれている小松正治さんも、「職人は5年で弟子上がりと言われるが、建元はそうはいかない。しきたりや綱に関するいろいろなことなど、たくさん

五日町

13人の建元



五日町建元 小松正治さん

大綱引きを主宰する人を「建元」と呼ぶ。いわゆるこの行事実施の責任者といわれる存在で、二日町6人、五日町7人の建元が取り仕切っている。

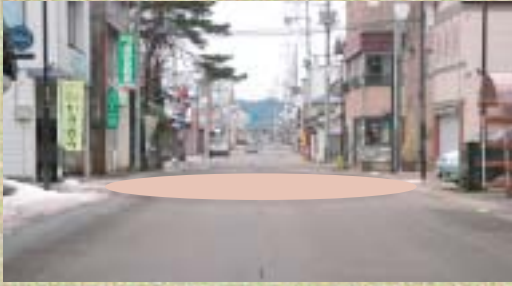
建元制度は昔は世襲であったと言われるが、現在では経験豊かな人が選ばれる。また、建元を補佐する「建元補」や若衆で組織される「実行部」と呼ばれる人たちが両町内に組織され、伝統を守っている。

のことを覚えなければならぬし、強烈なりーダーシップが必要」と話す。各町内の建元会議では、藁集め、グミの本数、綱擦いや綱飾りの段取り、綱引きの作戦についてなど、話し合われる内容は多岐にわたり、その事務量の多さには驚かされた。また、その姿からは綱への深い愛情を感じることが出来る。

利に向けてひたむきに努力する。二人の建元からは「伝統を責任持つて後生に伝えたい。誰でも参加できる大綱引きを楽しんでもらえるよう、当日は燃え尽きたい」という力強い言葉を聞くことができた。華やかな陰でひたむきに努力する人たち。その姿に男としての気概を感じ取ることができる。建元とは大綱引きに携わる多くの人たちに認められた者であり、選ばれし者たちである。彼らが羽織るはんでんは誇り高き男の証なのである。



五日町建元7人衆。



「ドップ」をはさんで東側の二日町（写真手前）と西側の五日町に別れるが、二日町南側はドップから50m（写真左側奥）、五日町は反対側50mが入り組んでいる。

「ドップ」

両町の境界の中心を「ドップ」と呼ぶ。その位置は旧藩時代の役所井戸の柱のところと決まっている。今はこの井戸も柱もなくなっているが、昔から変わっていない。

ドップの位置はそうのように決まっているが、両町の境界はお互いにかなり入り組んでいる。二日町南側の境界はドップから五日町の方に約50メートル入り込み、五日町北側の境界は二日町と同じように入り込んでいます。これは大綱引きが公正に行われるために、両町が互いに監視できるようにしたものとされています。

ドップは両町の中心というだけでなく、綱飾りや綱合わせなどが行われるなど非常に重要で神聖な場所である。



「サントウ」の振り方に合わせて力を結集する。五日町の提灯振り講習会の様子。

「サントウ」

大綱引きで使われる提灯のことを「サントウ」と呼ぶ。大勢の力を合わせるための重要な道具であり、両町内とも15人ぐらいのサントウ振りを配置する。この振り方が力を結集できるかどうかにつながるため、サントウ振りは非常に重要な役割であり、相当に熟練した人がこれを行う。

振り方には①「ジョウヤサノー」の掛け声を合わせて力を結集する長いストローク②相手に引き込まれたときに「こでえれー」（耐えろ）という合図③「ジョヤサー」「ジョヤサー」の連続で一気に引くときの振りーの3通りがある。この3つの振り方を組み合わせ、振り方をそろえて力を結集できるかが、勝負の分かれ目になる。

「押し合い」

綱合わせの前には、両町実行部の若衆による「押し合い」が行われる。押し合いは一つの景気付けの意味や若衆のエネルギー発散の意味もあるが、その後の綱の出し合いに密接な関係があるといわれる。

雄綱と雌綱を結び合わせるためドップに両方の綱を出さなければならぬが、どちらがどれだけ綱を出すかが勝敗に少なからずとも影響する。押し合いの勝負は、自陣側に押



綱引きの前哨戦「押し合い」では、両町内の若衆が激しく勝負する。

し込まれた方が負けて、負けた方は勝った方の言い分を聞かなければならない。以前は、この押し合いを何回も繰り返して、徐々に両方の綱がドップに出てきたため、勝負開始まで非常に長い時間がかかった。

神聖なる「ドップ」
振り方で力を結集「サントウ」
前哨戦「押し合い」

緊張と静寂の世界「綱合わせ」

大綱引き行事の中でもっとも劇的な場面
大勢の人々がこの場面を見ようと集まるが
最も熟練した建元たちが指示し作業が進む
サバグチに徐々にケンが通され「結び」ができる段階になると
声高に叫ぶことや提灯を高く上げるとは禁止される
厳粛にして静かなるときが過ぎ
緊張しながら引き合い開始のときを待つ

の綱が結び合う

雌綱のサバグチを立てて輪を大きく広げる。
雄綱の先端のケンに小綱を付けて、サバグチ
を通す



①

②

サバグチを通された雄綱は雌綱の横に下ろされ、
雌綱の下を通される。
そのとき雄綱と雌綱の間には輪ができる。

静寂の時間が流れる

二日町と五日町の大綱の先端がドツ
プのところまで出されると、いよいよ
綱合わせ作業だ。午後9時の引き合い
開始に備え、作業は午後8時ごろから
始まる。綱合わせは危険が伴う作業の
ため、最も熟練した建元たちが指示し
ながら進められる。

合わせ方は、五日町の雌綱のサバグ
チに二日町の雄綱のケンを挿入し、雌
綱に一回り巻き付ける「蛇口結び」と
いう結び方で結ぶ。この方法は両方の
大綱が引き合うことで結び目が固くな
る。(左ページ参照)

まず、雌綱のサバグチを立てて輪を

雌綱の下を通された雄綱はケンを立て、今度は
雌綱を一回り巻き付け、先に作った輪の中に通
される。

大きく広げる。次ぎに雄綱のケンに小
綱を結び付けてサバグチに通し、雄綱
を五日町の方向(写真左側)に約10メー
トルぐらい出して雄綱を雌綱の横にお
ろす。(写真①)雄綱を雌綱の下を通し
両綱の間に輪を作る。(写真②)そし
て、通した雄綱を雌綱の周りを一周さ
せて先に作った輪に入れる(写真③)と
いった具合だ。

雄綱の挿入が終わり「結び」ができ
る段階になると、会場では勝手に声高
に叫ぶことや提灯を高く上げることが
固く禁止される。作業途中に間違つて
引き合いになれば、結び目が回転し跳
ね上がり、惨事を引き起こす可能性が
あるからだ。この作業は厳粛にして静
かなるうちに進められ、引き手は緊張
しながら引き合い開始のときを待つ。

結びがちようど良い状態になると、
綱の結び目に集まった両町内の建元た
ちが小声で打ち合わせを始め、引き合
い開始のころ合いを確かめる。一人の
建元を残して結び目からほかの建元が
いなくなり、その最後まで残った建元
が綱が結び合う瞬間に手をサッと上げ
「ソラツ」と叫びながら綱から飛び降
りる。(写真④)それが綱引き開始の合
図であり、勝負開始の瞬間である。

静寂と緊張が一気にほどけ、地響き
のような喊声(かんせい)が沸き上がり、提灯が後
方に大きく振られ、その動きにあわせ
ながら「ジョウヤサノー」の声がかた
まする。

神聖なる場所で両町内

「綱合わせ」

蛇口結び

五日町 / 雌綱

二日町 / 雄綱



両方の大綱の先端がドップに出される。



サバグチ (左) を立ててケンを通す。



雌綱の下をケンを通す。そのとき、雄綱と雌綱の間に輪ができる。



ケンを立てて雄綱を雌綱に一回り巻き付ける。



先に作った輪にケンを通す。



両方から引き合うことで結び目が固く締まる。

③

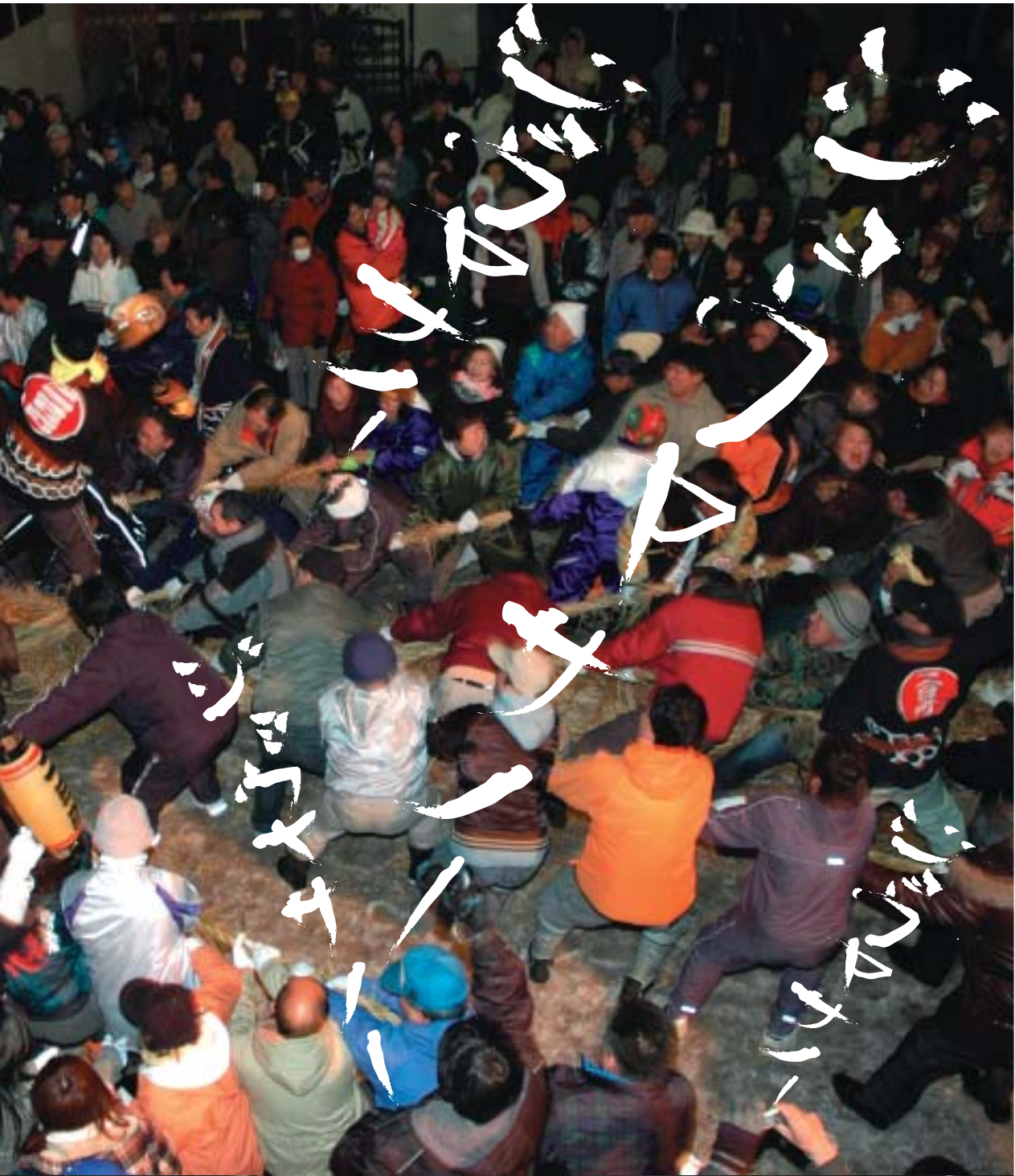


④



結びがちょうど良い状態になると、結び目には一人の建元が残り、綱が結び合う瞬間に綱から飛び降りる。それが引き合い開始の合図になる。

誇りと威信をかけ「引き合い」



－ 取材を終えて －

国指定重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」が今年も2月10日に行われた。

約6,500人が参加し、まちを二分した引き合いは13分続いた。そして、今年も五日町が昨年の雪辱を晴らし、豊作というご託宣たくせんが下された。

西仙北太鼓の会の陣太鼓にあわせ両町若衆の「押し合い」が午後7時ごろから始まり、半身裸の若者たちが勇ましくぶつかり合い氣勢をあげ祭りムードを盛り上げる。8時からは「綱合わせ」。会場には人波があふれはじめたが、今までの喧騒が静寂へと変わり厳粛な雰囲気の中、両町の大綱が一つになる。

緊張がピークに達した午後9時1分、建元が「ソラッ」という掛け声とともに綱から飛び降りた。その瞬間、地響きのような喊声かんせいが沸きあがり、一斉に人々が引き合う。一気に解き放たれた巨大なエネルギーが燃らせた大綱を伸ばす。しかし、力が均衡しどちらにも動かなくなると、行き場を失った力は約20トンの大綱を雪面から完全に浮き上がらせ、波打たせる。

大きく揺れる提灯と「ジョウヤサノー」の掛け声がある種の壮観美を演出し、見る側も力が入る。吐く息と体から立ち上る湯気が辺りを真っ白に染め、両町の力のもった激戦が繰り広げられた。熱気渦巻く中、大綱が五日町側に引き込まれると、観衆の間に大きな歓声とため息が広がった。

1カ月におよぶ取材をとおり、大綱引きについて知り地域の人たちの伝統行事に対する熱い思いに触れることができた。

勝負事であるゆえ勝ち負けにこだわる部分も大きいですが、それ以上に伝統を守り、後生に残そうとする姿勢や引き継ごうとする若い力に刺激を受けた。また、大綱が地域に一体感をもたらせていることに気付かされた。

時代の変化とともに「人と人の結び付き」いわゆるコミュニティの力が弱まってきているといわれている。しかし、雄綱と雌綱が結び合う国内最大級の大綱だけに携わる人々の結び付きは力強い。

その重みはまさに500余年の歴史であり、連綿と続いてきた地域の伝統文化にほかならない。一人一人が光り輝き、地域で結び付くことが地域の活力、ひいては大仙市の活力につながるはずだ。

豊饒ほうじょうなこの土地に生まれた私たちにとって、厳寒の2月に開催される詩情豊かな小正月行事は人々を楽しませるだけでなく、地域社会の結束を促す先人の知恵だったに違いない。

生まれ、育ち、そして暮らす、かけがえのない産土うぶすな。地域の特色を生かし新たなまちづくりを進める上で、地域のつながりを大切にしながら地域を見つめ直す必要があるのではないだろうか。

【特集】産土の血が騒ぐ「刈和野の大綱引き」

(終わり)



施設の臨時職員を募集します

市直営の特別養護老人ホーム・老人保健施設等

市直営各施設の臨時職員を募集します。申し込みは1施設1職種とし、選考は面接で行います。面接日は申込者に後日連絡します。

◆職種・採用人員／下表を参照
◆応募資格／60歳未満で高齢者介護に理解があり、通勤可能な方
※生活指導員は社会福祉主事、運転・施設管理は大型運転免許資格が必要で
◆雇用条件／賃金↓下表を参照(通勤手当なし)
勤務時間・休日↓施設や職種により異なります。申し込みの際にご確認ください。

◆採用予定日／4月1日(日)
◆申し込み方法／写真を貼付した履歴書に希望する施設と職種を記入し、所有資格の写しを添付して勤務を希望する各施設に直接または郵送で申し込みください。
◆申込受付期限／2月28日(水)
※郵送の場合は2月27日の消印有効
【問い合わせ・申し込み】勤務希望の施設へ連絡ください。

施設名	電話番号	介護員	調理員	看護師	事務員	生活指導員	運転・施設管理	パート			計
								介護	調理	洗濯清掃	
特別養護老人ホーム 桜寿苑 〒014-0203 北長野字野口前47	0187-56-2001	8人	1人		1人		1人	3人		3人	14人
特別養護老人ホーム 峰山荘 〒019-2431 協和峰吉川字半仙29-30	018-895-2236	9人	3人	1人				4人		1人	3人
特別養護老人ホーム 福寿園 〒019-1913 南外字湯神台10	0187-74-2121	3人	1人					3人	2人		1人
特別養護老人ホーム 愛幸園 〒019-1701 神宮寺字本郷道南78	0187-87-1080	7人				1人		4人	3人		1人
老人保健施設 八乙女荘 〒014-0203 北長野字野口前23	0187-56-2888	3人	1人		1人			2人		1人	1人
老人保健施設 幸寿園 〒019-2335 強首字上野台12-15	0187-77-2226	3人	1人								
協和高齢者生活福祉センター 〒019-2413 協和上淀川字中嶋33	018-881-6121							2人	2人		1人

【賃金(月額)】介護員 5,700円(有資格者 6,500円)、調理師 5,700円(有資格者 6,500円)、看護師 6,900円、事務員 5,300円、生活指導員 6,500円、運転・施設管理 5,700円、パート 710円・760円(時給)、援助員 5,700円

市役所からのお知らせ

Information From Daisen city
the TOP NEWS!

囲碁の講習会を行います

日本棋院プロ棋士による講習会

◆対象

【子ども囲碁指導】市内の小中学生

【学校囲碁指導員講習会】一般

◆期日／2月25日(日)

◆時間

【子ども囲碁指導】午前10時～

【学校囲碁指導員講習会】午後1時～

◆会場／大曲仙北広域交流センター

◆講師／マイケル・レドモンド9段(NHK囲碁の時間解説者)、酒井真樹8段(日本棋院ジュニア指導員)

【問い合わせ】

教育委員会生涯学習課 ☎0187(63)1111 内線338まで

農業者年金受給相談会

受給に関する個別相談会

相談を希望する方は各総合支所農業委員会までお申し込みください。

◆日時／3月2日(金)午後1時～4時

◆会場／西仙北高齢者ふれあいセンター(西仙北庁舎隣り)

◆申込受付期限／2月28日(水)

◆申し込み先／各総合支所農業委員会

【問い合わせ】

東部農業委員会

☎0187(63)8970

西部農業委員会

☎0187(75)2962まで

市役所からのお知らせ

Information Daisen City

おわびと訂正

2月1日号の裏表紙「サン・スポーツランド協和体育館」の使用料金表で、使用内容の中の「入場料あり」と「入場料なし」が逆になっていました。訂正しておわびします。

選挙人名簿の縦覧

農業委員会委員選挙人名簿

平成19年1月1日現在で調製した、「農業委員会委員選挙人名簿」の縦覧を行います。

ご覧になりたい方は選挙管理委員会事務局までお越しください。

◆期間／2月23日(金)から3月9日(金)まで

◆時間／午前8時30分～午後5時

◆会場／選挙管理委員会事務局(神岡庁舎内)

【問い合わせ】

選挙管理委員会事務局

☎0187(72)2167まで

臨時講師・保育補助員・公務補助員の募集

市内の各幼稚園、小・中学校

市立幼稚園に勤務する臨時講師や幼稚園、小・中学校に勤務する校務補助員を募集します。詳細はハローワークの求人情報をご確認ください。

◆職種／幼稚園臨時講師、保育補助員

幼稚園・小学校・中学校校務補助員

◆応募資格／臨時講師と保育補助員は、幼稚園教諭資格のある方

【問い合わせ】

教育委員会教育総務課

☎0187(63)1111

内線333まで

臨時保育士・調理員の募集

市内の公立保育所に勤務

市内の公立保育所に勤務する臨時保育士・調理員を募集します。

詳しくはお問い合わせください。

◆職種／保育士、調理員

◆応募資格／年齢が60歳未満(平成19年度中に60歳に達しない方)で①保育士の登録または登録見込みの方②調理師、栄養士の免許を取得している方

◆雇用条件／

賃金Ⅱ日額6100円(通勤手当なし)

勤務時間Ⅱ8時間(時差出勤あり)

休日Ⅱ日曜日、祝日

◆採用予定日／4月2日(月)

◆申し込み方法／必要書類を児童家庭課へ提出(郵送可)

◆必要書類／

①履歴書(写真添付)

②【保育士】保育士証の写し(登録見込みの方は、それを証明できるもの)

③【調理員】調理師免許証の写し、または栄養士免許証の写し

◆【調理員】調理師免許証の写し、または栄養士免許証の写し

◆志望理由(400字詰め原稿用紙2枚以内)

◆申込受付期限／3月6日(火)までに必着のこと

◆【問い合わせ・申し込み】

児童家庭課☎0187(63)1111

内線174まで

〒014-8601 大仙市大曲花園

町1番1号

テンドーヒルズ職員の募集

職員の二次募集を行っています

特別養護老人ホームテンドーヒルズでは職員を募集しています。

詳しい内容についてはお問い合わせください。

◆職種／介護士、介護職、看護職、事務職員

◆応募資格／介護士(契約職員)Ⅱホームヘルパー2級以上、介護職(パート職員)Ⅱ資格を問わない、看護職Ⅱ准看護師以上、事務職員Ⅱ高卒以上

◆雇用条件／

賃金Ⅱ法人給与規定により支給

勤務時間Ⅱ

【介護士・看護職】①午前7時～午後4時②午前9時30分～午後6時30分③午後5時～午前10時

【介護職】午前7時～午後6時30分

【事務職員】午前8時30分～午後5時30分

休日Ⅱ【介護士・看護職】勤務表による3交代【事務職員】土・日、祝日

◆試験日／3月25日(日)

◆採用予定日／6月1日(金)

◆申し込み先／ハローワーク大曲☎0187(63)0335まで

◆申込受付期限／3月15日(木)までに必着のこと

◆【問い合わせ】

社会福祉法人あけとおり会事務局

☎0187(68)2611まで

大曲庁舎

大仙市大曲花園町1番1号
☎0187-63-1111

西仙北庁舎

大仙市刈和野字本町5番地
☎0187-75-1111

南外庁舎

大仙市南外字下袋218番地
☎0187-74-2111

大曲南庁舎

大仙市大曲日の出町2丁目8番4号
☎0187-66-4905

中仙庁舎

大仙市北長野字茶畑141番地
☎0187-56-2111

仙北庁舎

大仙市高梨字田茂木10番地
☎0187-63-3003

神岡庁舎

大仙市神宮寺字蓮沼16番地3
☎0187-72-2111

協和庁舎

大仙市協和境字野田4番地
☎018-892-2111

太田庁舎

大仙市太田町太田字新田尻3番地4
☎0187-88-1111

大仙市各庁舎
住所・電話番号

第1回防災講演会

防災対策に「万全はなし」



世界的な気候の変化などグローバルな視点を交え、さまざまな事例について講演。

1月30日、大曲中央公民館を会場に「第1回防災講演会」が行われ、建設・防災関係者や一般の方々など約300人が訪れました。

講師を務めていただいたのは秋田大学工学資源学部土木環境工学科の松富英夫教授。「防災はハード事業とソフト事業がうまくかみ合って初めて機能する」と話し、津波とダムとのシステムや地域防災のあり方について講演しました。

大仙市でも昨年末に集中豪雨によって雄物川の水位が上がり、警戒態勢を取る事態があったばかり。「防災対策に万全はない」と話す松富教授の講演に、来場者は熱心に聴き入っていました。

中学校生徒海外派遣事業報告会

異文化と出会う楽しみ

1月25日、広域交流センターを会場に「中学校生徒海外派遣事業報告会」が行われました。この事業は、国際的な感覚を養ってもらうために市教育委員会が行っているもの。市内中学校生徒20人が参加し、1月4日から12日までオーストラリアに滞在。ホームステイや現地の中学生との交流などさまざまな体験活動を行いました。



た。報告会では、生徒一人一人が初めて見た海外の文化について発表しました。

オーストラリアへの旅は新鮮な驚きにあふれていたようです。

子育て支援と教育充実に関する意見交換会

県の子育て施策担当者と意見交換

1月31日、仙北ふれあい文化センターで「子育て支援と教育充実を推進する将来ビジョン意見交換会」が実施されました。

この意見交換会は、県が各市町村を回り、その地域の教育関係者と現在の子育て支援、子育てに関する各種取り組みの是非について意見交換を行うものです。

今回の意見交換会には、県や大仙市の関係者など23人が参加。厳しい県の財政事情の中、今後どのような子育て支援、教育支援が必要なのかについて話し合われました。

市側からは、子どもを安心して産み育てられる環境づくり推進、子育て支援の必要性などについて「新たな負担を県民に求める前にもっと予算のやりくりを工夫すべき」などの意見が出され、県の担当者と活発な議論が交わされました。



県や市、各地域の関係者により、子育て支援や教育に関するさまざまな意見が出されました。

デンマーク社会福祉研修

西仙北高校生徒が研修報告

1月25日、西仙北高校(斎藤義春校長・生徒数318人)の生徒がデンマーク社会福祉研修の報告に市役所を訪れました。西仙北高校では、福祉の先進国である北欧のデンマークを毎年訪問し社会福祉の研修を行っています。今年で9回目となる研修には生徒6人が参加し、ホームステイなどを行いながら北欧の文化に触れ、さまざまな社会保障制度や高い水準の福祉制度について研修を行いました。



日本とは違う北欧の福祉制度に触れてきました。

日本とは違う北欧の福祉制度に触れてきました。

心の強さ、弱さについて考える 大仙市民大学教養講座特別講座



普段聞くことのない、カウンセリングの現状。そのリアリティーある講演に、聴講者は熱心に聞き入りました。

1月29日、大曲西中学校(大友久志校長・生徒数131人)を会場に「大仙市民大学教養講座特別講座」が行われ、会場には大曲西中学校と大曲南中学校(千田文和校長・生徒数109人)の生徒のほか、たくさんの一般聴講者が訪れました。

今回講師を務めたのは文教大学大学院専任講師の秋山邦久さん。カウンセラーとして臨床心理の現場にたずさわる秋山さんは「幸せな未来のために～トラブルから身を守る」をテーマに講演し、現場で体験したさまざまな事例をユーモアを織り交ぜながら講演しました。

「これからは責任ある自己決定の力が必要」と語る秋山さん。生徒たちにとっては実際の現場を体験できる良い機会になりました。

太田地域で「健康と福祉の集い」 健康体操と福祉講演

1月24日、太田保健センターで健康と福祉の集いが行われ、約120人が参加しました。集いでは、県社会福祉



協議会常務理事・吉田慶嗣さんが「地域で支えるまちづくり」と題して講演。「何でも他人や行政に頼ってばかりではなく、一人一人が意識を変えることが大切」と話しました。また、社会体育研究所・小林恵津子所長が「どこでもできるツボ体操」を紹介。「体があつたまる」と好評でした。

「太田地域は隣人の顔が見える。ここで何が出来るか考え、よい地域を作ってほしい」と話す吉田さん。

子どもたちを「見守る輪」拡大 市防犯パトロール協定調印式

1月31日、市役所で「大仙市防犯パトロールの協力に関する協定書」の調印式が行われました。

今年から協力をいただくことになったのは仙北農業共済組合(佐々木順吉・組合長)と大仙市管工事組合(伊藤功・会長)の2団体。これから各団体の車両にステッカーを貼り、業務のかたわらパトロール活動を行っていただきます。

市では昨年、J A秋田おぼこ、大曲郵便局、県ハイヤー協会大曲仙北支部の3団体とパトロール協定を結んでいます。今回の協定調印により、市の公用車などを含め約480台の車両がステッカーを貼ってパトロールを行うことになります。



子どもたちの安全を守る「輪」がより大きく、力強くなりました。

100歳を祝い、長寿祝い金贈呈 手代木モトさん(協和地域)

1月25日、満100歳の誕生日を迎えられた手代木モトさん(協和地域稲沢)の長寿祝い金贈呈式が自宅で行われ、訪れた久米助役から祝い金が手渡されました。

モトさんは明治40年1月25日生まれ。最近足腰が弱くなったため、日中はベッドで過ごしています。



家族と一緒に食べるにぎやかな食事が一番の楽しみだそうです。

元気いっぱいの手代木さん。喜びの贈呈式となりました。



タンポポ惑う、春の陽気

今年はなかなかまとまった雪が降りません。降ったと思ったら次の日には快晴に…。そんな気候に惑わされたのか、何とタンポポが花を咲かせてしまいました(1月30日・中仙庁舎で撮影)。

今年の冬は、大人に優しかった(雪下ろしが無いので)反面、子どもたちにとっては寂しい冬になったのかもしれませんが。



おも・わ・ず **パチリ**

おおきなせなかに お便り広場

あて先はこちらまで

〒014-8601 (住所不要)

大仙市企画部秘書広報課

手紙・ハガキ、またはEメール
(kouhou@city.daisen.akita.jp)で
ご応募ください。

1月16日号に寄せられたお手紙から

市 の財政状況を知ることができました。市民として、より良い大仙をつくるためにも協力しようと思います。

(大曲地域・48歳女性)

財 源確保のためには人口増加が必要だと思います。

若い人たちが地元で就職できるよう、企業誘致や大型店の出店などにも期待したいですね。

(仙北地域・47歳女性)

市 財政の国や県への依存度の高さに驚きました。財政破綻、財政再建都市にならないよう頑張ってください。私たち住民も頑張ります。

(大曲地域・70歳男性)

他 市の財政破綻など、いかに健全な「市の財布」である事が重要か、市民もしっかりと考えていかななくてはならないと思います。

今後は職員の資質も問われる市政になるのではないのでしょうか。

(大曲地域・49歳男性)

平 成19年度予算に向け、コスト削減の意識を高めるためにも、職員の給料も含めた抜本改革をしなければいけないと思います。

(大曲地域・51歳男性)

大 仙市が財政破綻しないよう、みんなで見解を出し合って頑張ってください。

(中仙地域・62歳女性)

一 一般会計や特別会計の歳入のうち、税や使用料、負担金などに未収が生じた場合、どのように処理しているのか教えてください。

(大曲地域・69歳男性)

【会計課から】
税や使用料などに未収が発生した場合は、納めていただけるよう各担当課で戸別訪問するなどして、未収金が発生しないよう努めています。また、前年度までの未収金は、納めていただいた場合、現年度の収入になります。

市 内にはたくさんさんの温泉施設がありますが、この施設を紹介すれば利用促進につながるのではないかと思います。タウン情報誌的なコーナーがあればもっと市民に近い広報になるのではないのでしょうか。

(大曲地域・35歳男性)

今 年は秋田わか杉国体が開催されるので楽しみます。県外の人にもいろいろと秋田の良さを知ってもらいたいです。

(協和地域・23歳女性)

今 年は暖冬で除雪の心配がなくて楽ですが、自然環境が狂ってきているのかな…、と不安もあります。

(神岡地域・36歳女性)

今 年は雪が少なくとても楽です。今年こそ明るいニュースで秋田を全国的に有名にしたいですね。

(中仙地域・66歳女性)

冬 まつり楽しみですねー。今年こそは刈野の大綱引きを見てみたいと思います。

(大曲地域・30歳女性)

私 は編集後記がとても好きです。祭りですねー。まだ市内の冬まつりに行ったことはありませんが、今年こそ行ってみたいと思います。取材の際にはお会いしましょう。

(神岡地域・20歳女性)

ス ポーツなどで、目立たなくても一生懸命頑張っている人などを、広報に載せてもらいたいと思います。

(協和地域・60歳女性)

大 仙の冬まつり。今年は全部のイベントに行ってみたいです。

(中仙地域・32歳男性)

※写真は、「ごま入り」と「コーヒー入り」ふくれ煎餅です。
左のおぼんにのっているのは、レンジに入れる前の煎餅。



食材料庫 地場産 recipe.22 神岡地域

**みかんの皮入り
ふくれ煎餅**

みかんが
ほんのり香る
回舎菜子に
チャレンジ

材料

- ◎もち / 1升 ◎みかんの皮 / 少々
- ◎ざらめ / 300g ◎卵 / 5個 ◎バター / 50g
- ◎塩 / 20g

作り方

- ①ざらめ、卵、バター、塩をよく混ぜ合わせる。
 - ②みかんの皮をよく洗い、内側のシブを取り除き、細く千切りにする。
 - ③ついた餅に①を混ぜ合わせ、さらに3分くらいつく。つき終わったら②のみかんの皮を混ぜる。
 - ④強度のある箱(トレイなど)に入れ2~3日おく。硬くなってきたら、お好みの大きさに薄く(厚さ1~2mm)切って広げ、14日から20日くらい内干しをする。
 - ⑤内干ししたものを電子レンジで1分くらい加熱すると約2倍にふくれ食べられます。
- ※加熱し過ぎると黒くなるのでご注意ください。

※食べるとみかんが香り、おいしいですよ。乾燥しているため日持ちもし、お客さんにも大変好評です。

今回の料理の先生は
今 シゲ子さん
(神岡地域・北楯岡)



席 書大会の表紙を見て、太い筆など買えず書道用紙は新聞紙だった少年時代を思い出しました。
60年間、書道に親しみ続け、今では看板などの字も手がけています。表紙の女の子にも長く書道を続けてほしいと思います。
(西仙北地域・69歳男性)

(大曲地域・79歳女性)

自 分も書道をしています。表紙の一生懸命書道に取り組む女の子の表情がとても良いですね。
(南外地域・52歳男性)

真 剣な表情で書道に取り組む表紙の女の子。自分はこんなに真剣に取り組んでいるものがあるだろうかと思わせられました。
(協和地域・63歳男性)

カ ナデイアンカヌー日本代表の佐々木さんの記事を興味深く読みました。良い結果が出れば良いですね。
(大曲地域・39歳男性)

(大曲地域・39歳男性)

仙北地域の上水道供給についてのお便り
上水道をこんなに早く供給してもらい感謝しています。毎年、1月末ごろから雪解けのころまで水が枯渇し、日常生活に暗い影を落としましたが、これからは安心して水が利用できます。
資源は限りあるもの、大切に利用したいと思います。
(仙北地域・松本亨さん)

私の地区は水質が悪く、洗濯では白い衣類が茶色になり、飲料水としても安心して飲める水ではありませんでした。上水道が供給され、安心して水が利用できることを心から嬉しく思います。
(仙北地域・吉田京子さん)

ちょっと一服

5人の方々に図書カード
1,000円分が当たる

広報クイズ
Kouhou Quiz

問題

国の重要無形文化財である刈和野の大綱引き。
雄綱と雌綱を合わせた重さは約何トンでしょう？
① 10トン ② 20トン ③ 30トン

応募方法

発行号、答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、感想や市への質問などをお書きの上、秘書広報課までお送りください。また、ハガキ以外でもファックス(0187-63-1119)、Eメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)でご応募ください。

締切は 2月28日(消印有効)

大仙市の行事予定

2月16日(金)～3月7日(水)

(行事予定は都合により日程が変わる場合もあります)

2/16	(金)	
17	(土)	払田柵の冬まつり ■午前9時～■払田柵跡※蝦夷ほたる点灯は午後4時～ 太田の火まつり ■午後1時～■奥羽山荘西側広場
18	(日)	第7回冬の詩情 in 合貝 ■午後0時30分～■サン・スポーツランド協和サブグラウンド 休日外科当番医：大曲中通病院（大曲）☎0187-63-2131 休日歯科当番医：田口歯科医院（大曲）☎0187-63-7117 小児救急診療：仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111
19	(月)	DVに関する講演会 ■午前11時～■グランドパレス川端
20	(火)	
21	(水)	
22	(木)	身体障害者巡回相談 ■正午～■大曲仙北広域交流センター
23	(金)	農業委員会委員選挙人名簿の縦覧開始（～3月9日） ■午前8時30分～■選挙管理委員会事務局（神岡庁舎内）※P25 大曲青年会議所公開定例会「いじめ」～子供達のいじめに対する大人の対応～ ■午後7時10分受け付け開始■大曲プラザたつみ
24	(土)	大台キッズ大回転スキー大会 ■午前10時～■大台スキー場 東北マスターズスキー大台大会（～25日） ■午前10時～■大台スキー場
25	(日)	学校囲碁指導員講習会 ■午前10時～■大曲仙北広域交流センター※P24 小型船舶免許操縦法無料説明会 ■午前10時～・大曲仙北広域交流センター、午後1時～・協和体育館淀川分館 大曲吹奏楽団第35回定期演奏会 ■午後2時開演■大曲市民会館 休日外科当番医：仙北組合総合病院・外科（大曲）☎0187-63-2111 休日歯科当番医：畠山歯科医院（南外）☎0187-74-3115 小児救急診療：仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111
26	(月)	
27	(火)	第1回市議会定例会（1日目・予定）
28	(水)	国民健康保険税（8期）納付期限日
3/1	(木)	
2	(金)	農業者年金受給相談会 ■午後1時～■西仙北高齢者ふれあいセンター（西仙北庁舎隣り）※P24
3	(土)	
4	(日)	やすらぎコンサート（要整理券） ■午後3時開演■太田文化プラザ（無料） 休日外科当番医：仙北組合総合病院・整形（大曲）☎0187-63-2111 休日歯科当番医：こまい歯科医院（大曲）☎0187-62-4189 小児救急診療：仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111
5	(月)	秋田自動車道 西仙北料金所でETC時間帯割引を実施 ETCを利用している方で、通勤割引や深夜割引が対象となる時間帯に西仙北料金所（入口・ETC未設置）から自動車道を利用した場合、出口料金所で通行券とETCカードを係員に渡し、割引適用を申し出ることにより割引が適用されます。どうぞご利用ください。
6	(火)	
7	(水)	

お知らせ
Information

**年度末は混み合います
早めの手続き「自動車登録」**

3月中旬から、運輸支局の窓口は自動車の登録申請や車検の手続きで大変混み合います。

年度内に名義変更等の登録申請を予定している方は、早めの手続きをお願いします。

【問い合わせ・手続き案内】

東北運輸局秋田運輸支局

☎ 050-5540-2012 まで

Course 講習

子育ての喜び「元気な母ちゃん・父ちゃん育成セミナー」

子育ての体験談や活動の事例を聞きながら、子育ての喜びを考えてみませんか？託児もあります。

◆日時／2月24日(土)午後1時～3時

◆会場／大曲仙北広域交流センター

◆参加費／無料

◆申込受付期限／2月20日(火)

【問い合わせ・申し込み】

仙北地域振興局地域企画課

☎ 0187-63-5114 まで

**秋田県立大学生物資源科学部
退職教授記念講演会**

秋田県立大学生物資源科学部を支えた教授 11人による無料の講演会です。

詳しい内容についてはホームページをご覧ください。

期日／2月27日(火)・28日(水)

時間／午前10時～

会場／県立大学秋田キャンパス大学院棟大講義室

【問い合わせ】

県立大学地域共同研究センター

☎ 018-872-1557 まで

<http://www.akita-pu.ac.jp/>

休祭日救急医療センター(大曲保健センター内)

■内科・小児科 ■午前10時～午後4時

☎ 0187-62-1015

情報交差点

Information

Events イベント

桃の節句を楽しもう サンクエストのひなまつり

ひな人形展示のほか売店や各種イベントなども用意しています。

- ◆期日／2月24日(土)・25日(日)
- ◆時間／午前9時～午後4時
- ◆会場／サンクエスト大曲

【問い合わせ】

サンクエスト大曲
☎ 0187-63-5572 まで



24日は午前10時から「かみしばい」、11時から「もちつき体験」を行います。

近代美術館企画展 さあ、探検しようアートの森展

- ◆期間／4月1日(日)まで
- ◆時間／午前9時30分～午後5時
- ◆会場／県立近代美術館(横手市)
- ◆観覧料／一般400円・学生300円・小中学校200円



近代美術館子ラシ。工藤甲人「星と鳥」(1963年)の一部。

【問い合わせ】

県立近代美術館
☎ 0182-33-8855 まで

多才な顔を持つ天才芸術家 池田満寿夫作品展

絵画や版画、彫刻、陶芸など、多分野で活躍した芸術家池田満寿夫の無料の作品展です。

- ◆期間／2月25日(日)まで
- ◆時間／午前9時～午後4時
- ◆会場／大仙市産業展示館

【問い合わせ】

青少年ホーム
☎ 0187-62-1312 まで

Invitation 募集

情報をお知らせください 日本画家「倉田松濤」

大仙市美術愛好会では、太田地域横沢地区の出身で、明治、大正、昭和と活躍した日本画家倉田松濤画伯の展覧会を計画しています。

倉田画伯の情報が不足していますので、作品の所在や画伯にまつわる情報がありましたらお知らせください。作品展の都合上、2月中のご連絡をお願いします。

【連絡先】

大仙市美術愛好会 千葉さん
☎ 0187-57-2731 まで

入居者を募集しています 県営船場町住宅(平成4～6年建築)

申し込み多数の場合は、公開抽選により入居者を決定します。

- ◆募集戸数／3DK・4戸
- ◆入居資格／住宅に困っている方(世帯の収入による条件あり)
- ◆家賃／21,200円～36,000円
- ◆入居可能日／3月14日(水)
- ◆申込受付期限／2月28日(水)

【問い合わせ】

仙北地域振興局建築課
☎ 0187-63-3113 まで

科目等履修生・聴講生を募集 秋田県立大学

19年度前期(4月から)の科目等履修生と聴講生を募集します。詳しくはお問い合わせください。

- ◆費用／①入学検定料9,800円②入学金28,200円③1単位の授業料【科目等履修生】14,800円【聴講生】7,400円
- ◆申込受付期限／2月28日(水)

【問い合わせ・申し込み】

秋田キャンパス
☎ 018-872-1534
本荘キャンパス
☎ 0184-27-2000 まで

新会員を募集しています 大仙市シルバー人材センター

登録には申し込みのほか、入会説明会への参加が必要です。

- ◆応募資格／市内に居住する原則として60歳以上の健康な方で、人材センターの趣旨に賛同できる方
- ◆説明会日時／3月6日(火)午前10時～
- ◆説明会会場／シルバー人材センター(大曲住吉町)
- ◆説明会申込受付期限／3月2日(金)

【問い合わせ・申し込み】
大仙市シルバー人材センター
☎ 0187-62-4343 まで

2007年度受講生を募集 秋田県オルガン奏者養成講座

アトリオン音楽ホールでは、オルガン演奏の知識と技術を学ぶ受講生を募集しています。詳細はホームページにも掲載しています。

- ◆受講年数・定員／

【初級】2年間・約10人
【上級】2年間・若干名
【フォローアップ】1年間・若干名

- ◆受講料／50,000円(1年間)
- ◆審査オーディション／4月15日(日)
- ◆申込受付期限／3月20日(火)

【問い合わせ・申し込み】
秋田アトリオン音楽事業部
☎ 018-836-7803
FAX018-836-7868 まで
<http://www.atorion.co.jp/ongaku/>

企業を募集します 均等・両立推進企業表彰

詳しい応募内容については問い合わせください。

- ◆応募資格／女性の能力発揮のための取り組みや仕事・育児・介護の両立支援を推進している企業
- ◆申込受付期限／3月31日(土)

【問い合わせ】
秋田県労働局雇用均等室
☎ 018-862-6684 まで

酒遊サミット

in ながい

自然と語り、人と語り、酒と語ろう



南外の地酒と南外地域をまるごと堪能できるイベント「酒遊サミットinながい」。

参加者は3つのコースから1つを選択し、出羽鶴酒造の酒蔵見学や榎岡陶苑の陶芸、そば打ちなどを体験することができ、コース終了後には地酒と郷土料理を心ゆくまで楽しめる談話交流会も行います。

交流会では、うまい日本酒と地場産食材をふんだんに使った郷土料理を楽しめます。参加お待ちしております。なお大曲駅から送迎バスもありますので、ご利用ください。

- ◆会場／南外コミュニティセンター（南外庁舎隣り）ほか
 - ◆参加費／3,500円
 - ◆申込受付期間／2月19日（月）から3月9日（金）まで
- ※定員になり次第締め切り。

【問い合わせ・申し込み】
 自然酒の会事務局（神岡南外商工会南外支所内）
 ☎0187(74)2615
 ファックス0187(74)2670

日時／3月25日（日）
 A・Cコース午後0時50分
 Bコース午後1時30分スタート

選べる3つのコース

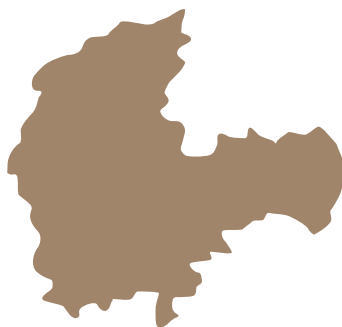
A. 榎岡焼体験コース
 定員／30人
 出羽鶴酒造見学、新酒試飲、
 榎岡陶苑で焼き物づくり

B. 村のおもしろ発掘コース
 定員／26人
 榎岡陶苑の窯出し見学、
 出羽鶴酒造見学、新酒試飲

C. そば打ち体験コース
 定員／24人
 そば打ち、出羽鶴酒造見学、
 新酒試飲

編集後記

▼暖冬で雪が少ない。去年の経験から今年
 は冬囲いにちよつと多めの釘を使つてみた
 が、この分だと春の撤去の手間が増えただ
 けで終わりそうだ▼暖冬といつても長く外
 にいたり、早朝や夜間などはさすがに体が
 冷える。こんなときは熱い風呂で体を温め
 るのが何よりだ▼風呂と言えば、最近、雑誌
 を読みながら風呂に入ることが楽しみの一
 つになった。雑誌を読むため多少長風呂に
 なつてしまふ、汗やお湯で雑誌を濡らさな
 いようにするのは少々気が使う▼発汗が
 進むために良いような気はするが、時間を
 忘れ長く入りすぎると首や肩が痛くなり
 ちよつと疲れる。ただ、ゆつくりと自分の時
 間を楽しみながらお湯に浸かれるので、心に
 余裕ができるのは確かだ。自分なりのちよつ
 としたスローライフと言つたところだろうか▼
 寒いと熱い風呂に入るのが楽しみになる。風
 呂あがりの湯冷めには十分に注意し、みなさ
 んもスローライフならぬ風呂（フー）ライフ
 を楽しんでみてはいかがでしょう。（朋



人口と世帯数 (1/31現在)

※()内は前月比

人口	94,404 人 (-109)
男	44,774 人 (-42)
女	49,630 人 (-67)
世帯数	30,477 世帯 (-7)

- 編集発行 秋田県大仙市企画部秘書広報課 TEL 0187-63-1111
 〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 有限会社 佐藤印刷所



古紙配合率100%再生紙を使用しています



大豆油インキを使用しています。